

2021年5月7日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

全国妊産婦脳卒中^{しっかい}悉皆調査

2. 研究責任者

海南病院 産婦人科 鷺見 整

3. 研究の概要

妊産婦脳卒中の頻度は稀ですが、母体および胎児に生命の危険や重大な後遺症をきたすため本人および家族に与える影響は甚大です。また産婦人科単独では対応できないため、治療に際しては脳外科のみならず脳卒中内科、麻酔科、小児科などの協力が不可欠となりますが、現状では救急体制を含めて様々な問題があると思われまます。この研究の目的および意義はわが国における妊産婦脳卒中の実態(頻度・発症時期・病型・治療法・予後)を明らかにすることで、この疾患に適切に対応するためのシステム構築の一助となることです。当研究は全国調査のため、研究責任機関である京都大学医学部 脳神経外科講座にて統合し、解析を行います。データ提出後に参加拒否を表明された場合、データの削除はいたしません。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2018年1月1日から2019年12月31日の期間に妊娠中および分娩後6週間以内に脳卒中を起こされた患者さん

②使用する試料等

カルテ情報：診断名、症状、年齢、性別、手術記録、画像、臨床転帰などの診療記録

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 産婦人科 鷺見 整

電話：0567-65-2511（代表）